

# 令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

学校法人 にしき幼稚園

理事長 伊達 文代

## 1. 法人の概要

### (1) 設置する学校

にしき幼稚園 米子市河崎1660番地

### (2) 学則定員

210名

### (3) 園児数

5 歳 児	ひまわり	17名
	こすもす	16名
4 歳 児	そら	21名
	ほし	20名
3 歳 児	うさぎ	18名
	こあら	17名
2歳児・満3歳児	も も	20名
計		129名

(令和2年5月1日現在)

### (4) 役員・教職員

理 事	5名
評 議 員	11名
監 事	2名
役員合計	18名
園 長	1名
教 員	10名
職 員	3名
パート教職員	7名
教職員合計	21名

(令和2年5月1日現在)

### (5) 納付金等経年推移

(単位:円)

納付金内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入 園 料	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
入園手数料	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
保育料(月額)	23,000	23,000	23,000	24,500	24,500
施設費(月額)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
(平成28～30年度 暖房費)	12～3月	12～3月	12～3月	通年	通年
令和元年度～冷暖房費(月額)	700	700	800	300	300

### (6) その他納付金経年推移

(単位:円)

その他の納付金	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
給食費 1食 4～9、10～3月	284、304	304	304	310、335	360
交通会費(月額)	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
月額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
預かり保育料 平日1回	150～600	150～600	150～600	150～600	150～600
	上限 6,000	上限 6,000	上限 6,000	上限 6,000	上限 6,000
休み中1回	800	800	800	800	800

## 2. 事業の概要

### (1) 本園の教育目標は以下の3つです。

かしこく・・・正しいことが正しいとわかり、正しいことの前に頭を下げるができるように。

やさしく・・・人の痛みがわかり、人を思いやることのできる愛情豊かな優しい心の持ち主に。

たくましく・・・未知の世界に可能性を求めて、勇気を持って挑戦することができるように。

### (2) 令和2年度の重点目標と主な取り組み

- 1 健康 健康な心と体を育てる
- 2 人間関係 自立心を育て 人と関わる力を育てる
- 3 環境 好奇心や探求心をもって生活する力を育てる
- 4 ことば 経験して考えたことを自分なりの言葉にするなど表現力を育てる
- 5 表現 感じたことを自分なりに表現し、豊かな感性や表現力を育てる

各学年ごとの指導計画をもとに豊かな環境の中で、安全にのびのびと遊べるように、教育の内容の充実を図った。

健康教育については令和元年度より「足育」に力をいれている。体の土台になる足を育てるために あしのぼ体操 や足指を使った運動を多く取り入れ、またカワイ体育教室と契約し、体幹を鍛える運動も取り入れております。

新型コロナウイルス感染症予防のため、各教室に空気清浄機を導入し、マスクの着用・手洗いの励行・手指の消毒を徹底した。また、業者による2歳児クラスの机・いす等や手洗い場・トイレなどのレバーの抗菌作業を実施し、安全対策に務めた。

食育については、園の畑で甘藷苗を植え、水やりをし秋には収穫の喜びを味わい、またプランターで夏野菜(ミニトマト、なす、ピーマン等)を栽培し、生長や収穫の喜びを味わった。

情操教育の一環として、専門の先生による指導で楽しくお茶の作法を学び、日本文化に触れます。  
外部講師による「英語遊び」をとおして、楽しく英語を学び異文化に触れることができました。  
夏は園の常設プールで楽しく遊びます。また外部講師による指導も受けました。

### (3)年間行事

4月	始業式、入園式、家庭訪問
5月	尿検査、いも苗植え
6月	プール開き、保育参観・クラス懇談 英語教室(年長・年中)、JSSプール指導(年長、年中組)
7月	七夕、個人懇談、終業式、一泊保育(年長)、英語教室(年長)、体操教室
8月	夏季保育
9月	始業式、内科検診・秋の運動会、英語教室(年長、年中組)、体操教室(長・中・少)
10月	遠足、いも掘り、英語教室(長・中・少)、体操教室(長・中・少)、秋祭り
11月	発表会、英語教室(年長・年中・少)、体操教室(長・中・少)、不用品バザー
12月	クリスマス会、もちつき、お茶会、英語教室、体操教室、個人懇談、終業式
1月	始業式、入園説明会、英語教室、お茶会、体操教室
2月	豆まき、保育参観、作品展、お茶会、英語教室、体操教室
3月	お茶会、個人懇談、卒園式、修了式

上記のほかに、毎月「誕生会」「園外保育」「避難訓練」をおこなっています。

### (4)地域及び保護者との交流

交流会・・・コロナウイルス感染症予防のため、中止  
子育て支援く未就園児との交流・・・いちごクラス、にこにこクラス>  
公民館祭の参加 ※ぱんだクラス・・・コロナウイルス感染症予防のため、中止  
保護者会活動・・・親子企画(トウモロコシ収穫体験)  
ベルマーク整理、秋祭り、不用品バザーなどの企画、運営  
また、幼稚園行事のお手伝いや窓ふき・除草作業等協力していただいた。

### (5)預かり保育

保育終了後、預かり保育を行った(長期休暇・土曜日も実施)  
希望者には、早朝7時30分～ また夕方19時までの預かり保育を行った。  
長期休暇中、またその前後の午前中保育の時に給食の提供を行った。

### (6)設備の購入・その他工事など

- ❖ ラック、ドラム用キャリア他、複合機、園児用テーブル4卓、空気清浄機10台(コロナ予防対策)  
鼓隊用衣装・帽子 計250万円
- ❖ テレビユニット、コンセント他 177千円
- ❖ フェンス修理(隣の事業所よりの小火により フェンス8枚取り換え・・・火災保険より)517千円

### (7)教職員研修

子どもたちの豊かな人間性を培い、一人ひとりに応じた資質や能力をはぐくみ生きる力の基礎を身につけることができるよう、発達段階に応じた保育が求められます。それを実現するため、月1回の園内研修及び終礼時に個々の園児の成長度やクラスの運営状態を知り、今後の取り組みの改善や推進事項について共通理解を持つ機会を作っている。外部研修においても各種研修会に参加し、現場や個々のレベルアップに努めている。

### (8)評価等について

- 各行事後や年度末に保護者アンケートを実施し、保護者の意見、感想等聞いた。
- 理事会・評議員会等で保育の内容、行事等について説明し意見・感想を聞いた。
- 自己評価を行い、各自反省点を見直し、次年度の保育に生かせるよう話し合った。

その他資料

園児数の推移(平成17年より)

5月1日現在 (名)

年度	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
園児数	109	118	112	107	120	91	92	91	129	136	135	130	116	129	118	129
	2歳児 2名含む	2歳児 10名含む	2歳児 7名含む	2歳児 7名含む	2歳児 7名含む	2歳児 3名含む	2歳児 10名含む	2歳児 8名含む	2歳児 15名含む	2歳児 10名含む	2歳児 11名含む	2歳児 17名含む	2歳児 11名含む	2歳児 17名含む	2歳児 13名含む	2歳児 20名含む

園児数及び教職員数の経年推移(5月1日現在)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
園児数		116	129	118
教職員数		15	17	20
内訳	教員	12	12	12
	職員	3	5	8

(1)資金収支の推移

(単位:千円)

科目	年度	H29年	H30年	R1年	R2年	内 容
		決算額	決算額	決算額	決算額	
資金収入の部	学生生徒等納付金収入	37,637	41,568	40,732	44,433	保育料、入園料、施設整備費、冷暖房費収入
	手数料収入	50	54	64	60	入園・退園手数料
	寄附金収入	472	587	662	466	保護者等からの寄付金収入
	補助金収入	27,909	196,667	27,632	29,350	県・市からの補助金収入
	資産売却収入	108	135	5,030	0	有価証券の売却収入
	付随事業・収益事業収入	15,002	16,982	17,234	18,732	給食費収入、スクールバス利用料他
	受取利息、配当金収入	75	40	9	7	受取利息、配当金収入
	雑収入	401	20,541	3,745	775	施設利用料収入、退職金社団収入
	借入金等収入		265,000	0	0	金融機関からの改築費用 借入
	前受金収入	963	691	1,006	975	翌年度入園児の入園料他
	その他の収入	23,214	266,984	203,591	22,692	園が一時預かった金銭の収入額他
	資金収入調整勘定	△ 1,100	△ 186,755	△ 10,632	△ 7,273	当期末の未収入金及び前期末の入園料前受金
	前年度繰越支払資金	73,564	56,467	145,850	121,763	前期末の預金及び現金の保有高
収入の部合計	178,295	678,961	434,923	231,980		
資金支出の部	人件費支出	69,062	88,194	64,606	68,968	教職員及び役員に対する給与手当並びに園負担の所定福利費
	教育研究・管理経費	23,291	39,909	26,440	24,164	教育用経費及び管理経費の支出額
	借入金等利息支出		677	1,504	1,465	借入金利息
	借入金等返済支出			165,000	5,256	借入金返済
	施設関係支出	0	402,932	1,959	177	建物、構築物支出
	設備関係支出	5,897	3,259	1,719	2,502	教育及び管理用の機器備品支出額
	資産運用支出	30	1	8,000	8,016	特定資産繰入支出
	その他の支出	26,382	27,442	47,184	15,407	園が一時預かった金銭の支払額他
	資金支出調整勘定	△ 2,834	△ 29,303	△ 3,252	△ 4,443	当期末の経費等の未払額
	翌年度繰越支払資金	56,467	145,850	121,763	110,468	当期末の預金及び現金の保有高
支出の部合計	178,295	678,961	434,923	231,980		

## (2)事業活動収支の概要

(単位:円)

事業活動収入の部		
科目	決算金額	内容
学生生徒等納付金	44,432,995	保育料、入園料、施設設備費収入、冷暖房費収入
手数料	60,000	入園手数料、退園手数料
寄付金	490,640	保護者等からの寄付金収入
経常費等補助金	29,350,231	県及び米子市からの補助金収入
付随事業収入	18,731,890	給食費、交通会費、預かり保育料収入、販売収入
雑収入	1,194,255	施設利用料、雑収入
受取利息・配当金	6,537	
<b>事業活動収入の部合計</b>	<b>94,266,548</b>	
事業活動支出の部		
科目	決算金額	内容
人件費	68,967,827	教職員及び役員に対する給与手当並びに園負担の 所定福利費
経費	44,865,501	教育用経費及び管理経費並びに園負担の所定福利費
借入金等利息	1,465,283	借入金に対する支払利息の支出額
資産処分差額	1	固定資産処分に伴う除却損
<b>事業活動支出の部合計</b>	<b>115,298,612</b>	
基本金組入前当年度収支差額	△ 21,032,064	当年度の事業活動収入額から事業活動支出額を差引いた金額
基本金組入額合計	△ 6,831,540	
前年度繰越収支差額	83,607,373	前年度末までの繰越収支差額の累計額
基本金取崩高	3,000,000	
<b>翌年度繰越収支差額</b>	<b>58,743,769</b>	当年度末の繰越収支差額の累計額

## (3)貸借対照表の概要

(単位:円)

資産の部		
科目	本年度末残高	内容
固定資産	521,314,564	
有形固定資産	502,277,345	
土地	81,728,530	園地
建物	342,678,324	園舎
構築物	28,168,926	総合遊具他
機器備品	7,726,754	教育, 管理用機器備品
図書	149,590	
車輛	1,628,001	スクールバス2台
建設仮勘定	40,197,220	
特定資産	18,887,251	
退職給与引当特定資産	487,217	
減価償却引当特定資産	10,000,000	
設備充実引当特定資産	6,000,000	
役員退職金引当特定資産	2,400,034	
その他の固定資産	149,968	
電話加入権	149,968	NTTの電話加入権
流動資産	118,109,985	
現金預金	110,468,513	現金及び普通・定期預金
未収入金	6,266,870	未収入の補助金
前払金	800,000	
販売用品	559,002	販売用品の棚卸原価
立替金	15,600	一時的な立替払い
資産の部合計	639,424,549	

負債の部		
科目	本年度末残高	内容
固定負債	89,975,217	
退職給与引当金	487,217	
長期借入金	89,488,000	園舎建築のための借入金
流動負債	11,705,975	
短期借入金	5,256,000	借入金のうち翌年度中の返済予定額
未払金	4,442,633	園負担の教職員所定福利費の翌月支払額、販売用品他
前受金	975,000	翌年度入園児の入園料
預り金	1,032,342	教職員負担の所定福利費の預り金
負債の部合計	101,681,192	
純資産の部		
基本金	478,999,588	
第1号基本金	471,999,588	
第4号基本金	7,000,000	
繰越収支差額	58,743,769	
翌年度繰越収支差額	58,743,769	
純資産の部合計	537,743,357	
負債及び純資産の部合計	639,424,549	